

38 「持続可能な社会」を担う人づくりについて

(財務省、環境省)

【内容】

- (1) 持続可能な開発のための教育（ESD）を広く国内へ浸透・定着させるため、ESDの視点を取り入れた環境教育・学習や普及啓発などの取組を積極的に推進すること。
- (2) 地域における「持続可能な社会」を担う人づくりを一層推進するため、NPO、企業、大学など多様な主体との連携・協働による、地域の特色を生かした人材育成などの取組を積極的に支援すること。

(背景)

- 将来世代が、大気や水、食料やエネルギーなどの自然からの様々な恩恵を引き続き享受しつつ発展していくためには、この地球が持つ自然の営みの中で、人類と自然が共存できる「持続可能な社会」を形成していくことが求められている。
- このため、ESDの視点を取り入れた、環境面における「持続可能な社会」を担う人づくりの取組が重要である。
- 本県では、2005年の愛知万博や2010年の生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）、2014年のESDに関するユネスコ世界会議をきっかけとして、NPOや大学、企業など様々な主体により、環境をテーマにした人づくりにつながる活動が活発に展開されている。
- 今後は、県内に大きく広がりつつある環境活動をさらに促進させるため、NPO、企業、大学など多様な主体と連携・協働して、より多くの県民の参加を促しながら、活動情報の発信、環境学習の推進、イベントの開催などを通して、「持続可能な社会」の担い手となる人づくりを積極的に進め、「環境首都あいち」の確立を目指している。

(参 考)

○ 平成 27 年度における「環境首都あいち」を担う「人づくり」事業

1 あいち環境づくり担い手育成事業

第 4 次愛知県環境基本計画（平成 26 年 5 月策定）の目標である「県民みんなで未来へつなぐ環境首都あいち」の実現に向け、地域の中で環境活動の輪を広げていくことのできるリーダーとなる人材の育成講座を実施する。

<人材育成講座>

| | |
|------|--|
| 開催時期 | 平成 27 年 8 月～11 月 |
| 講座日程 | 12 日間 |
| 開催場所 | 名古屋市内ほか |
| 参加者 | 県内 13 大学から学生 20 名 |
| 内 容 | 学生が研究員となり、協力企業から環境に関する事業活動の課題を研究員に提供し、その課題を解決するために研究員が研究するとともに研究成果を広く発信する。 |

2 「ほの国」東三河の自然環境保全指導者の養成

東三河地域において、自然環境の保全・再生の取組を一層推進するため、大学、NPO、企業など多様な主体による地域活動の中心となる人材を育成する。

<人材育成講座>

| | |
|------|---|
| 開催時期 | 平成 27 年 9 月～平成 28 年 2 月 |
| 受講者 | 30 名 |
| 内 容 | ・自然環境の保全、再生活動に関するセミナー（座学及び実習(各 4 回)） ・エコツアー（東三河の自然環境の視察） ・活動の成果、提案発表会 |

3 環境学習施設のネットワーク（^{あ える}AEL ネット）の活用

県内の環境学習施設のネットワークである愛知県環境学習施設等連絡協議会（AEL ネット）を活用し、県民の皆様気軽に楽しく、地球にやさしい行動などを体験していただき、エコアクションへと踏み出す機会を提供する。

AEL（あえる）ネット：県内の学習施設等が協力して、地域における環境学習の推進を図るために平成 20 年 3 月に設置。
平成 27 年 8 月現在 157 施設等が加盟。

4 「エコリンクあいち」の運営

県民の皆様一人ひとりが気軽にエコアクションを学び、実践へとつなげていただくことをサポートするため、エコアクションを「はじめたい方」、「つづきたい方」、「つなげたい方」など誰もが活用でき、エコアクションの意識づけや環境学習施設等の情報提供、活動団体の活動情報をネットワーク化し、団体間の交流の場となる専用のウェブサイトインターネット上で提供する。